

令和 4 年度 下 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岩野田児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市粟野東1丁目95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 中部学院福祉会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,825,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,095.03㎡ ◇延床面積:532.42㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,967	6,352	5,854	4,181	5,743
	移動児童館利用者数	293	197	216	237	304
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※18(18)	※12(12)	※8(8)	※10(10)	13
	開館日数(単位:日)	151	155	150	93	150

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①・⑤ おおむね計画通り実施。事業については、新規事業の実施により、事業計画書記載の実施予定日から一部変更し、実施している。 ② 所長(常勤・児童厚生員)、常勤職員1人(体育指導員・児童厚生員)、非常勤職員5人(※全員が児童厚生員) ③ 児童センターだより「わくわく」を毎月発行、配付(近隣の3小学校・3公民館へ配付、全自治会員回覧、近隣の4幼稚園・2保育園、岐阜市北保健センター、近隣のイベントホール等へ配付)。ホームページへも掲載。指定管理者の広報誌にも児童センターでの行事の様子を掲載。 ④ 常時、アンケート回収箱(ご意見箱)を設置し、利用者の意見・感想、要望等を把握、課題解決に努めている。対応を、アンケート回収箱近くに掲示。 また、半期に1度、利用者アンケートを実施、詳細な実態を把握後、課題解決に努めている。アンケート結果と対応を、館内廊下2か所に掲示。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	① 適切に実施。 ② 館内清掃を毎朝、全職員で遂行。開館中は、利用者に使用済の玩具を回収箱に入れてもらい、職員が定期的に回収箱を確認、破損等を点検しながら使用玩具を消毒、利用者が使用できる場所に戻す。オゾン式保管庫も活用。各部屋の出入りのドアノブ、トイレ便座、トイレスリッパ、洗面台等も、定期的に消毒。閉館前には、使用された玩具や運動用具をすべて各階の1部屋に集め、破損等の点検、その後クロール水を室内に噴霧、消毒。週2回は、就労促進事業清掃班による館内清掃。トイレスリッパについては、月1回、ハイター消毒液でつけ置き洗浄、消毒。年3回床のワックスがけ・エアコン清掃・ガラス磨き等を委託業者に依頼、徹底清掃。新型コロナ対策として、上記消毒の徹底、検温用サーマルカメラの活用、利用時間制限、換気等、感染防止策を徹底している。 ③ 経費削減の必要性について全職員で共通理解し、日常業務の一つ一つについて「経費削減につながる工夫はできないか」「大きな削減はできなくても、小さな削減の積み上げが大切」という視点で日々見直しを進めている。こまめな室温・照明の調節、廃材、新聞・チラシ、裏紙の活用等、全職員で取り組んでいる。備品購入・委託事業等は法人の経営する他施設と一括することで経費の節減を図っている。 ④ 毎朝・夕、施設周りの点検を実施。玩具については、消毒時や片付け時に1日複数回点検。破損がある場合は、おもちゃ病院の方に修理を依頼。屋外遊具の定期点検(年2回)実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	① 児童センターの屋内・外環境について、安全・安心・利用しやすい等の視点で見直し、日々改善を進めている。毎日の点検時に発見した箇所については、速やかに職員の手で修繕し、業者対応が必要な箇所については市担当課に連絡、相談、指定管理者(法人本部)とも相談し方針を決め速やかに対応している。 ② 簡易な修繕については、児童センター職員で対応。必要に応じ、指定管理者(法人本部)にも連絡、相談し、迅速・適切に対応している。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③ 適切に実施。 年度当初、全職員で、各種マニュアル、関係法令等について、内容・対応を確認、共通理解している。安全・安心・利用しやすい等の視点で、日々の業務を全職員で見直し、随時改善を加えている。改善内容については、スタッフインフォメーションファイル等に記録し、全職員に周知することで、事故・苦情等の防止に活かしている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和4年12月20日～令和5年2月28日 回答者数: 82人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和4年12月20日～令和5年2月28日 回答者数: 80人(小学: 1年12人、2年11人、3年26人、4年8人、5年2人、6年15人) (中学: 1年0人、2年5人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)(無回答1人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 岩野田北(28人)、岩野田(20人)、常盤(11人)、鷺山(4人)、長良東(4人)、長良(3人)、長良西(2人)、その他市内(3人)、その他市外(7人) 【年齢】 10代(0%)、20代(7%)、30代(74%)、40代(13%)、50代以上(6%) 【利用頻度】 初めて(18%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(4%)、週1回(18%)、2週に1回(26%)、月1回(24%)、その他(10%) 【来館相手】 子(79%)、孫(1%)、友人(4%)、その他(16%) 【子・孫の年齢】 0歳(20%)、1歳(25%)、2歳(20%)、3歳以上(34%)、無回答(1%) 【来館方法】 徒歩(13%)、自転車(4%)、自家用車(83%)、公共交通機関(0%)、その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(26%)、広報紙・チラシ(16%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(3%)、知人・友人(30%)、ぎふし子育て応援アプリ(0%)、ソーシャルメディア(0%)、その他(25%) 【評価】 (あいさつ) 満足(95%)、ほぼ満足(4%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(3%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(94%)、ほぼ満足(4%)、普通(1%)、やや不満(1%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(78%)、ほぼ満足(16%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%)

	(整理整頓) 満足(86%)、ほぼ満足(10%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(80%)、ほぼ満足(12%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(85%)、ほぼ満足(12%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 岩野田北小(53人)、岩野田小(13人)、岩野田中(5人)、常磐小(4人)、その他市内(5人) 【学年】 小学: 1年(15%)、2年(14%)、3年(33%)、4年(10%)、5年(2%)、6年(19%) 中学: 1年(0%)、2年(6%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 無回答(1%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(11%)、週4・5回(4%)、週2・3回(15%)、週1回(20%)、その他(48%) 【来館相手】 ひとり(12%)、友人(50%)、父母(20%)、親戚(6%)、その他(12%) 【来館方法】 徒歩(36%)、自転車(29%)、自家用車(32%)、バス・電車(0%)、その他(3%) 【好きな遊び】 バドミントン(19%)、卓球(12%)、ドッジボール(9%)、ウノ(8%)、皿回し(8%)、オセロ(8%)、トランプ(7%)、人生ゲーム(6%)、その他(23%)
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	<保護者> ・小さい子どもの事故に対する工夫が色々となされていて、すばらしいなと思いました ⇒児童センターのよさを、たくさん教えていただきありがとうございます。利用者の皆さんに、児童センターで安心して楽しい時間を過ごしていただけるように、今後もセンター職員全員で、環境整備や活動支援に努めていきたいと考えております。ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・駐車場が少ないので、できればたからばこやおもちゃ病院の方は違うところにとめていただけると有難いです ⇒駐車スペースにつきましては、ご不便をおかけしており申し訳ありません。その日の利用状況、混雑状況により、屋外での遊びや活動を制限した上で、児童センター南側スペース(運動広場)を駐車場として利用する対応も行っております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。 ・新しいおもちゃが増えるとうれしいです ⇒新しいおもちゃにつきましては、少しずつではありますが、順次購入予定です。児童センターにあると、利用者の方が楽しんで活動できるおもちゃがあれば、センター職員にぜひお声掛け、ご紹介ください。よろしくお願いいたします。 ⇒新型コロナウイルス感染予防のため、使用後のおもちゃは回収させていただき、消毒後、再提供させていただいております。その日の利用状況やおもちゃの使用状況により、使用可能なおもちゃの数が少なくなることも予想されます。使用済みのおもちゃの回収状況に気を配り、できる限り早く消毒し再提供できるように対応していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。 ・トイレの床がタイルだと、小さい子が利用する時、親御さんが抱っこをするのが大変かも知れません。1Fの多目的トイレだけでも、フローリング張りにして頂けると、利用しやすい様に思います ⇒児童センター内では、利用者の方は上履きを使用されていません。利用者の方がスリッパを履かず(スリッパに履き替えられず)にトイレを使用されることで、トイレの床の汚れが児童センター内の他の箇所に広がるのが予想され、衛生上の観点から、トイレの床のフローリングへの張り替えは予定していません。トイレ使用時、ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・(他の児童館もそうなのですが…)せつかくなので先生方のお名をしりたいなど、いつも思います。プライバシーの関係上難しさもあるかもしれませんが、先生方の名札をつけてくださったらうれしいです ⇒職員の名札については、できる限り着用するようにしていますが、利用児童と一緒に取り組む活動内容によっては、安全上の配慮から着用していないこともあります。名札の着用の有無に関わらず、ご用の際は、お気軽に職員にお声掛けください。よろしくお願いいたします。 (クラブへの意見) ・いつもありがとうございます。本人も楽しみにしているようです。ピョピョさん、もう少し時間が長いとありがたいです ⇒今年度は新型コロナの感染予防のため、参加者を10:00～10:30の部、11:00～11:30の部に分けて募集することで、参加者の密を避け、消毒時間も十分に確保して幼児クラブを実施しました。今後も、児童センターを利用される皆さんが、安全に、安心してセンターでの活動を楽しめるように、活動内容や活動時間、参加人数等を十分検討して実施していきたいと考えています。ご理解、ご協力をお願いいたします。 ・楽しく参加させていただいてます。テンボよく絵本やリトミック(手あそび)等がたくさんあると、より(うちの子だけかもしれませんが…)楽しめると思います ⇒今年度は幼児クラブやコアラベータタイムなどでリトミックを実施しました。参加された方から大変好評をいただいております。「もう少し回数を増やしていただけたら…」というご意見も届いておりますので、来年度はリトミックや運動遊びの実施回数を増やす方向で検討しています。センターだより「わくわく」に案内を掲載しますので、お申し込みください。よろしくお願いいたします。 ・季節のイベントがあるとうれしいです ⇒今年度は、幼児親子さんを対象として七夕飾りやクリスマス飾り作り、ハロウィン遊びや豆まき遊びなどを実施しました。小学生を対象として母の日、父の日、敬老の日のプレゼント作りや、七夕飾りやクリスマスリース作りなどを実施しました。来年度も引き続き、「季節」に関わる行事は実施予定です。センターだより「わくわく」に案内を掲載しますので、お申し込みください。よろしくお願いいたします。 ・一般来館の方から→途中からも入会させてほしいです ⇒今年度は幼児クラブ参加者を3期に分けて募り、実施しました。参加者には各期に設定する活動を全て体験していただきたいという願いから、幼児クラブを期ごとに事前入会制としています。来年度も幼児クラブについては、事前入会制で実施予定です。定員に達していない場合の途中入会や、定員に達している場合でも参加予定者からの欠席連絡があった回のみの参加等については、対応していきたいと考えています。センターだより「わくわく」に案内を掲載しますので、お申し込みください。よろしくお願いいたします。

<児童>

・バスケットボールをできるようにしてほしい

⇒新型コロナの感染予防のため、バスケットボールやドッジボールなどの遊びについては活動を制限しています。児童センターを利用される皆さんが、安全に、安心してセンターでの活動を楽しめるように、ご理解、ご協力をお願いいたします。

・女のせんせいがたくさんいてほしい

⇒職員の勤務シフト(児童センターで勤務する日、休みの日)の関係で、いつも女性の職員が児童センターに居るわけではありません。職員全員が、センターを利用される皆さんには、あたたかく、優しく、笑顔で接することを心がけていますので、男性の職員にも、ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。

・あいてもたのしめるあそびをしたい

⇒新型コロナ感染予防のため、バスケットボールやドッジボールなど、一部の遊びについては活動を制限しています。現時点でセンターにある玩具や遊具を使用して、楽しく遊んでいただきたいと思います。また、センターでもできる楽しい遊びがあればセンター職員に声をかけていただけるとありがたいです。教えていただいた新しい遊びの導入、必要な用具の購入も検討したいと思います。よろしくお願いします。

・てつぼう

⇒児童センターの運動広場には、鉄棒を設置できる余裕スペースがありませんので、鉄棒の設置は今のところ考えておりません。現時点でセンターにある玩具や遊具、運動用具を使用して、工夫して楽しく遊んでいただきたいと思います。また、センターでもできる楽しい遊びがあればセンター職員に声をかけていただけるとありがたいです。教えていただいた新しい遊びの導入、必要な用具の購入も検討したいと思います。よろしくお願いします。

・チェンソーマンのマンガを置いてください…2

⇒児童センターの廊下に常時設置してあるアンケート回収箱にも、これまでに利用者の方から書籍の購入について貴重な意見をいただいています。これまでにいただいている意見をまとめ、新しい書籍の購入について今後検討していきたいと考えています。よろしくお願いします。

・キッカーボードのふっかつ、おねがいします

⇒新型コロナ感染予防のため、キッカーボードについては活動を制限しています。現時点でセンターにある他の玩具や遊具を使用して、楽しく遊んでいただきたいと思います。また、センターでもできる楽しい遊びがあればセンター職員に声をかけていただけるとありがたいです。教えていただいた新しい遊びの導入、必要な用具の購入も検討したいと思います。よろしくお願いします。

・いりぐちのだんのところがすべる

⇒雨天や降雪により、玄関タイルが濡れている時、走ったりすると滑ることがあります。日頃から、廊下や階段などでは安全のために走らないように利用者の方にはお声掛けをしていますが、玄関についても安全なセンター利用に関わるお願い、声掛けを再度、徹底したいと思います。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	S	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価

○児童センター内の案内掲示や依頼掲示等を、利用者に「見ていただけるか」「理解していただけるか」等の視点で随時評価し、更新している。また、様々な外部機関から掲示、展示を依頼されるポスターやパンフレット等についても、分類・整理して掲示、展示することで、多くの方に活用していただいている。センターを利用する小中学生や、利用者の同伴者の方からも、「わかりやすい。」「見やすい。」といった感想をいただいている。センター利用に関するルールや依頼事項等について、全職員であらためて共通理解するよい機会にもなっている。

○児童センターの環境や事務処理、利用者対応等、センターのハード、ソフト両面を例外なく新鮮な目で見直し、随時改善を加えている。上記の「センター内案内掲示や依頼掲示等の一新」「ポスターやパンフレット等の分類、整理」「利用者への支援に必要な職員配置」「利用者支援に必要な専門性に関わる図書整備や職員研修(OJT)」「職員間で情報共有するための支援記録ノート」、他にも、「玄関や廊下、おもちゃ図書館等の物の配置の見直し(安全・利用しやすいから)」「見直し・改善内容を職員間で情報共有、徹底するためのスタッフインフォメーションファイル」等々、日々実践を進めている。

○センター利用に関わるルールの理解が十分ではない児童や、集団の中で活動する上で安心・安全面で言動に不安がある児童も見られ、利用者の多い火曜日から土曜日については、職員を3名(※利用者が特に多い水曜日については4名)配置し、1・2階各フロア、事務室に1名ずつ職員を置き(※水曜日は1階フロアに2名配置)、配慮を必要とする児童への支援を徹底するよう努めている。

また、児童理解、支援の手立てについても、関係図書を事務室に購入、整備し、幼稚園・保育園や小中学校での経験豊かな職員数名が講師となり、OJT形式で職員研修を行うなど、対応を進めている。日々行った児童への支援については、記録ノートに記載し、職員間で共有、累積している。

○下半期も、新規事業として、「イチゴの植栽体験」「消しゴムハンコ作り」「みんなのクラリネットコンサート」「しいたけの収穫で食育体験」「幼児救命講習会」等を計画、実施した。

▷イチゴの植栽体験 ～イチゴをお家で育てよう～
JAぎふ岩野田支店の営農担当の方に協力いただき、幼児親子を対象として実施した。イチゴの苗を植えたプランターは参加者が各自で家に持ち帰り、収穫時期まで親子で協力して管理する。

▷消しゴムハンコ作り
岐阜県野郵便局の方に協力いただき、小学生以上の児童を対象として実施した。手作りのハンコは参加者が各自で家に持ち帰り、年賀状に押すなどして活用した。

▷みんなのクラリネットコンサート
岩野田地区在住の方が所属するアンサンブル・インフィニティの皆さんに協力いただき、幼児親子を対象として実施した。

▷しいたけの収穫で食育体験
就労継続支援A型ひなたぼっこ園の方に協力いただき、幼児親子を対象として実施した。

▷幼児救命講習会
岐阜北消防署岩野田分署の方に協力いただき、幼児親子を対象として実施した。

日頃から、近隣地域の外部機関や団体、個人と連携した行事が企画できないか情報収集に努め、多くの方の理解と協力を得て、下半期も上記新規行事を開催することができた。協力いただいた方々と、来年度以降の連携も約束いただいている。

○利用者の方と個別に関わるができる機会を大切に、来館された同伴者や、小中高生に必ず声を掛け、信頼関係づくりを努めた。乳幼児の同伴者の方からいただいた要望をもとに上半期に児童センター内に設置した「幼稚園・保育園情報コーナー」については、情報提供の増加・充実と、利用者の情報活用が進んでいる。また、近隣地域在住の専門家の方の協力を得て設置した「発達・子育て相談」ができる場についても、徐々に利用者への周知が進み、活用方法の問い合わせがセンターに届くようになってきた。下半期、1名の方が「発達・子育て相談」を受けている。また、上半期利用者アンケートに記載いただいた、「パパ・ママと一緒に参加のイベントがあれば参加したい。」という要望を受け、保護者向け講座を「パパの○○」「ママの○○」という形に加え、パパ・ママの記載がない、「子育てキャンパス」という名称でも企画し、実施している。下半期も複数回実施し、利用者から大変好評をいただいている。

○子育て支援
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、継続して、幼児クラブを前・後半各8組定員で開催した。参加者の方には、消毒、検温、体調チェックを徹底してもらい、実施会場ではジョイントマットを幼児親子の数分敷き、隣との距離を確保した。前半終了後には、活動に使用した物やジョイントマット等の消毒を徹底して行った。また、普段の来館時にも、クラブ開催時と同様に、消毒、検温、体調チェックをお願いし、密を避けて遊んでいただけるよう声かけをしている。一度使用された玩具や運動用具は、使用済玩具・用具回収箱に入れてもらい、職員が頻繁に確認、できる限り早く消毒していただけるように対応した。コロナ禍でも、安全、安心して来館できる環境づくりのために、職員の対応を徹底し、利用者への働き掛けも継続して行っている。

・児童センターのLINE公式アカウントを作成し、「幼児クラブ登録者」や「V・わくわく隊(小学生ボランティア隊)の児童」、「各行事参加者」「来館同伴者」等にLINE登録を丁寧に依頼した。LINEを活用することで、児童センターからの連絡、児童センター担当者との相互連絡等が簡単、迅速にできるようになり、利用者の利用しやすさにつながった。LINEを利用して、LINE登録者から児童センターへ個別に意見や要望を届けていただけるようになり、「利用者の方からの意見・要望→児童センターでの内容把握、対応策の検討→意見・要望をいただいた方への回答→対応策の実施」という改善サイクルを時期を逸せず、より迅速に行えるようになった。

○児童健全育成
・昨年度改善した入館カードの様式を続けて使用し、児童センター利用者の新型コロナウイルス感染防止に関わる意識の高揚を図っている。入館から受付までの動線(入館→消毒→検温→受付)に合わせてセンター環境を整備したことで、利用者の流れがスムーズになり、密にならず安全に入館受付を行うことができるようになった。また、入館時に預かる貴重品類も、互いの手に触れることなく袋を被せた容器で受け渡ししたり、マスクを忘れた利用者には、こちらから不織布マスクを提供したりするなど、すべての利用者が安全、安心して利用できる環境づくりを徹底している。トイレスリッパについても毎日アルコール消毒し、月1回、休館日前日の閉館後、つけ置き洗浄・消毒を行っている。

・運動を楽しんでいる利用者の水分補給にも気を配り、様子を見ながら個別に水分を取るよう声を掛けるとともに、持参したお茶を飲みほした子や持参していない子には、センターで用意したお茶を使い捨て紙コップで提供し、熱中症予防に努めている。

・下半期、地域にある岐阜県野郵便局の方に協力いただき、小学生以上の児童を対象として実施した。手作りのハンコは参加者が各自で家に持ち帰り、年賀状に押すなどして活用した。

○地域活動
・たからばこ、ココのおはなし、おはなしポケット、おもちゃ病院は地域活動のため、新型コロナウイルス感染防止対策をとり活動いただくよう依頼した。

・児童発達支援や放課後等デイサービス事業者とも連携し、新型コロナウイルス感染防止対策を確認、共有した上で、各施設利用者の児童センター利用を進めた。

・岩野田・岩野田北まちづくり協議会と連携し、各団体のホームページに児童センターだより「わくわく」を掲載いただいている。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	○新年度のスタートから下半期も継続して、新型コロナ感染予防のために職員が行う、自身の健康チェックや利用者対応、消毒作業等について、随時職員打ち合わせを行い徹底してきた。下半期前半から新型コロナ感染拡大の第8波が顕著になり、感染拡大防止を徹底する意図で、児童センター内の利用者への感染防止対応依頼掲示を随時評価し、利用者の関心を引き、理解しやすく、職員の利用者への声掛けにも活用できるよう、依頼案内や場所、方法等を工夫・改善している。 ○児童センター内外を、「リスク防止」の視点で点検、確認し、事故の未然防止に努めている。コロナ感染防止のための消毒・換気、玩具・運動用具・遊具等の安全点検、コーナークッションの貼付、コンセントカバーの取付、運動用具保管方法の見直し、事故防止のための注意喚起掲示の工夫・設置等、「まだ、すべきことがある」という意識で、全職員でリスク防止、対応を行っている。 ○児童センターでは、遊びや行事を企画したり、遊びを他の利用者に教えたりする小学生を募集し、V・わくわく隊(小学生ボランティア隊)として位置づけている。年度当初には、隊員の写真を撮り、個人写真入りの隊員バッジを職員と一緒に制作、配付し、隊員全員が来館時に身に着けている。同時に、実施したい行事についても話し合っている。センターでは新たに動画作成ソフトを準備し、隊員が中心となり「様々な遊びのルールや上達するコツ等を説明する動画」や「児童センターの利用の仕方や利用する上でのルールを紹介する動画」を作成している。隊員が主体となって動画の構成を考え、演者や撮影者も担当しながら作成を進めている。他にも、来年度は近隣の畑を借りた野菜づくりを実施予定で、現在借用する畑が決まり、どんな野菜を栽培するか、栽培した野菜はどう活用するかなど、詳細について計画中である。
今後の取組み	○来年度も継続して近隣地域の外部機関や団体、個人と連携した行事が企画できないか情報収集に努め、利用者のニーズに合った行事を企画、開催していきたい。今年度新たに実施した行事に加え、「パンづくり」や「干し柿づくり」、「そば打ち」など、地域の様々な人と連携した行事を実施につなげ、ブログ等でも紹介しながら、児童センターとの連携について地域の理解をさらに広めていきたい。 ○来年度も継続して、V・わくわく隊(小学生ボランティア隊)の活動の充実を図っていきたい。現在作成、準備している「児童センターの利用の仕方や利用する上でのルールを紹介する動画」を完成させ、利用者がいつでも見られるようにセンター内に配置することで、V・わくわく隊のメンバーの達成感とボランティア活動への意欲をさらに高め、次に計画している、近隣の畑を借り、JAぎふと連携して行う、野菜づくりにつなげていきたい。

●所管課の意見

- 利用者アンケートを保護者、児童ともに約80人の利用者から回収しており、幅広い利用者ニーズの把握、事業への反映に努めている。
- イチゴの植栽体験など地域と連携した事業や児童が得意なことを他の児童に教えるといった児童が主体となる取り組みなど特徴的な新規事業を多数実施している。
- 移動児童館を積極的に実施し、児童館がない校区の子育て支援に努めている。
- おたよりの配布先を増やしたり、LINEを活用して利用者と相互にやりとりができるようにするなど、利用促進につながる取り組みを行っている。
- 地元の団体や地元の方と協働して様々な事業を実施するなど、地域と連携して事業を実施している。

●指定管理者評価委員会の意見

全体的に非常に評価が高い。
Line公式アカウントを作成し、それを活用しているので、利用者との相互連絡、簡易化、迅速化ができていと思われる。またそれが利用促進につながっており、利用者のニーズにも迅速に対応できているので、非常に良い取り組みである。